

私たちの道 MCWAYを感じる

体験を通じて人は変化する

1. 複数の体験から気づき

普段の業務、地域活動に取り組むなかで多くの反応を頂く。

- ・ とある社長から「自分で株式を持っていないし、会社のため投資をしたい、人を採用して育てようとも思わない」
→ 承継問題は会社の成長を止めることがある。そこで働いている人は不幸になる
- ・ とある少数株主から「相続で●億円を支払った。当時会社にも所属していなかった自分が悪いんだけど、納めるために自分たち家族の財産を切り崩した。他の親戚株主は誰も手助けしてくれなかった」
→ 株式の問題は一族の関係性を悪化させて不和を生む
- ・ とある経理部長から「あのとき、みらいさんに会ってなかったら、こんなにスムーズに相続手続きが済まなかったと思う」
→ 当たり前のことをしたつもりだったけど、こんなにも喜んでもらえる
- ・ とある地元の友人から「地域に残りたいと思わない。残ったとしても魅力的な仕事も期待できないし、収入面においても期待できるパートナーと出会えるか分からないから。あと閉鎖的だね」
→ あまり自覚はしていなかったが、昔の自分も同じ選択をしていた。はたして地域やそこで働く人はこれからどのような感情を抱くのか？

マイパーパスや価値観は自分のなかでは確立されていると思い込んでいたが、体験を通じて変化し続けることに気付く。むしろ変わっていくことが自然(20代の頃は特に正直自分の仕事に対して強いこだわりがあったわけではなく、仕事観・人生観などほとんど無いに等しかった)

とりあえず取り組んでみたから、上記体験を得ることが出来た。あとから点と点が繋がることもある

2. 今後の取り組み「体験の仕入れ」

- ・ お客さま先や地域は面白い。体験を積める機会がたくさんある。
- ・ 課題がそのままになっていることも多く、現場で直接見聞きすることができる。
- ・ MCでは、他拠点、他の価値貢献、外部パートナーから得られる情報(打ち手)と、現場の課題を結び付け、提案や価値提供することで、また新たな体験を積める。新たな共感を生む。次の事業開発へ